



社会福祉法人

広報

# 静岡いのちの電話 44号

## 新しい時代へ

静岡いのちの電話理事長 中井弘和

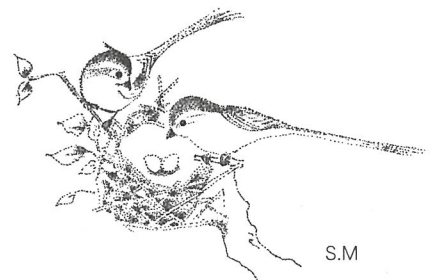
『いのちなき砂の悲しさよ さらさら握れば 指のあひだより落つ』（啄木）

平成最後の日、私は寒い雨の中を勤務先の農場の苗床の傍らに立ち、悪天候にめげず土から一斉に顔を出し始めている稲の芽たちを見て安堵しました。そして、静かに、平成という時代に思いを巡らせます。

やはり3.11の東日本大震災が胸に迫ってきます。その時、冒頭にあげた私が最も好きな詩の一つが浮かんできました。自分の不遇な運命をいのちのない砂に託して嘆いた作者の心情をあらわしているという解釈もよく理解できます。しかし、この詩は、人のいのちへの悲しみや慈しみを感じながら、いのちの再生を願った祈りのように今の私には思われます。

この詩を啄木の庇護者だった金田一京助の筆跡で刻んだ石碑が、昭和41年に陸前高田市海岸の松林の片隅に建立されました。3.11の津波でそれは流されることとなります。一本松のモニュメントのある場所です。この短歌は、啄木が盛岡中学3年の時、引率の先生や友人たちと三陸の海岸で遊んだ時の記憶がモチーフになっているといわれています。明治29年の三陸津波から4年後のことです。その遭難碑の前で彼は悲しみしばらく佇んでいたという記録もあります。なお、神童と呼ばれ未来に大きな夢を抱いていたころでした。

平成時代は、東日本大震災のほかにも、大地震、大雨・大洪水、超大型台風、大規模土砂崩れなど度重なる大災害に見舞われました。それによって無数の同胞を失った悲しみは今も絶えず私たち生きている者の心の片隅に棲みついていきます。そのような人達のいのちが再生する道は、私たちが死者になすべきそれは在るのでしょうか。大命題の前に空しく想い惑いながら、私たちの思考の行き着く先はやはり「祈り」につきることになります。私たちひとり一人が、祈りつつ、「いのち」を慈しむ生活を選択し、新しい時代を創り生き抜いていくことを願うばかりです。（平成最後の日に記す）



### 聴かせてください ひとりで悩まずに

相談電話 054-272-4343 しみじみ  
 相談時間 年中無休 12:00~21:00

24時間、隣にいます。

心の痛み、話せる電話です。

自殺予防 いのちの電話  
 ナヤミ ヨヨロシ  
 0120-783-556  
 毎月10日 8:00~翌日8:00  
 (24時間・無料です)



あなたがつらいとき、  
 近くにいます。

# 2018年度事業報告

## 1 自殺者数は減少しているも、相談件数は依然多い状況

- ・我が国の自殺者数は、平成30年は20,598人と、9年連続減少しています。しかし日本の自殺死亡者率は、依然先進国の中で最高の自殺率水準にあります。
- ・静岡県の自殺者数は、611人で自殺率は平成29年16.6人と全国平均（16.8）をやや下回っています。
- ・一方静岡いのちの電話への年間相談件数は、平成30年12,439件と増加し、ここ4年間ずっと12,000件を超えています。
- ・相談件数のうち自殺傾向有りの相談比率は、7.0%と他センターと比べて低くなっています。

## 2 相談員の減少傾向に歯止めがかかる

- ・第19期7名認定され実働相談員は現在89人になりました。平成24年ピーク時の94人には未だ及びませんが、第20期の仮認定者が4名あり、増加の兆しです。

## 3 相談員募集活動と研修状況

- ・相談員養成講座の受講者数  
17期11名・18期7名・19期14名・20期7名・21期10名。
- ・認定相談員数  
16期9名、17期6名、18期1名、19期7名、ひとまず回復傾向にあると言えます。
- ・相談員募集のチラシを講演会・映画会で配布紹介したほか、相談員募集要項を、県及び市広報誌に掲載依頼しました。また各地の公民館・学習センター等に置いてもらうようにしました。今年度も県の助成金を活用して、ラジオ・FM放送で2か月間、募集スポットを出してもらいました。また新聞各紙に第21期相談員養成講座受講生募集のニュースリリースを投函し呼びかけをしました。

## 4 三島分室開局後の状況

- ・三島分室が開局して1年半が経過し、相談員は現在8名、事務方3名で活動しています。
- ・30年11月17日三島市民文化会館において、服部織江氏を講師に、「不登校や引きこもりなど生きづらさを抱えて生きる若者をどう支えるか」と題し、市民公開講座を開催しました。
- ・第20期の認定相談員2名が、三島分室で活動に入りました。  
また、現在第21期の養成講座受講者10名中、4名の方が東部地区在住者であり、更なる発展が期待されています。

## 5 連盟主催インターネット相談業務に参加し30年10月よりスタート

- ・三島分室所属の連盟認定ネット相談員2名で、インターネット相談を10月より開始しました。

- ・ネット相談員として、今年度静岡センターから新たに2名の認定者が誕生しました。

## 6 事業活動・後援会活動の状況

- ・映画会の開催  
30年8月4日サルナートホールにて、映画「ゆずりは」を上映。160名の参加。
- ・災害時自殺対策講演会  
30年11月4日もくせい会館にて、岩手県釜石市出身の佐々木格氏を講師に「心のインフラとしての「風の電話」～生かされた者の生き方～」と題しての講演には、約110名の方が参加。
- ・市民公開講演会  
30年12月2日静岡音楽館A O Iにて、「宮沢賢治文学から見る生きることの豊饒さ」と題して、日本大学芸術学部教授の山下聖美氏の講演を開催。出席者約120名
- ・自殺予防講演会  
31年1月27日静岡市葵生涯学習センターにて、「人は、人を浴びて人になる」と題して、児童精神科医師・やきつべの径診療所の夏苺郁子氏講演150名参加
- ・後援会総会・講演会の開催  
平成30年5月27日ホテル・シティオ静岡にて、定例の後援会総会が開催され、約30名の出席。総会恒例の講演に静岡県ボランティア協会理事長小野田全宏氏を講師に迎え、「静岡県ボランティア協会と静岡いのちの電話」について話されました。

## 7 開局20周年記念事業のプロジェクト委員会検討状況

- ・記念式典、記念講演、記念の集い、記念誌発行、賛助会員・寄付勧誘活動等を各委員会のもとで、準備を進めており、3月中旬には合同委員会で調整検討し、併せて総合収支予算を5月に最終決定する予定。
- ・記念式典は令和元年7月28日(日)中島屋グランドホテル3階 オリーブの間にて13時より開催する。
- ・「いのちの電話とは」紹介リーフレットの作成  
昨年から有志によるプロジェクトチームを立ち上げ、3月に完成しました。今後相談員募集活動や静岡いのちの電話の紹介・広報活動に活用していきます。

## 8 諸会議の実施状況及びその他の事項

### (1) 理事会、評議員選任・解任委員会、評議員会の開催

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| ・30年度第1回理事会開催   | 30年5月13日 |
| ・評議員選任・解任委員会の開催 | 30年5月13日 |
| ・30年度定時評議員会の開催  | 30年5月27日 |
| ・30年度第2回理事会開催   | 30年12月9日 |
| ・30年度第3回理事会開催   | 31年3月10日 |
| ・第2回評議員会の開催     | 31年3月24日 |

### (2) その他報告事項

- ・静岡いのちの電話後援会長 浅野 徹氏(享年84歳)が、30年6月5日逝去されました。長年にわたり後援会活動にご尽力を頂きましたことを感謝申し上げます。



# 社会福祉法人 静岡いのちの電話 2018年度 決算報告書

## 貸借対照表

2019年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]	11,331,131	[流動負債]	0
現金預金	7,398,831	預り金	0
未収金	3,932,300	前受け金	0
[固定資産]	18,422,808	[固定負債]	0
基本財産定期預金	10,539,094	[基本金]	10,539,094
器具及び備品	1,275,274	[国庫補助金等特別積立金]	485,093
権利	76,440	[施設設備整備他積立金]	6,532,000
ソフトウェア	0	[次期繰越活動増減差額]	12,197,752
施設設備整備他積立資産	6,532,000	(内.当期活動増減差額)	(416,977)
合 計	29,753,939	合 計	29,753,939

脚注 ・ 減価償却費の累計額 : 4,279,808円

## 2018年度事業活動・資金収支計算書及び2019年度予算

(単位:円)

事業活動計算書			
区 分	2018年度決算	2017年度決算	
科 目	金 額	金 額	
[サービス活動増減の部]			
会費収益	2,406,260	2,362,349	
電話相談事業収益	6,475,938	6,948,702	
経常経費寄附金収益	2,038,398	2,293,948	
その他の収益	0	0	
サービス活動収益計(1)	10,920,596	11,604,999	
人件費	2,333,464	2,313,758	
事業費	4,154,566	4,862,607	
事務費	3,612,336	3,700,622	
減価償却費	573,789	686,699	
国庫補助金等積立金取崩額	▲ 165,934	▲ 144,712	
その他の費用	0	0	
サービス活動費用計(2)	10,508,221	11,418,974	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	412,375	186,025	
[サービス活動外増減の部]			
受取利息配当金収益	1,804	1,765	
その他の収益	2,800	70,100	
サービス活動外収益計(4)	4,604	71,865	
サービス活動外費用計(5)	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,604	71,865	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	416,979	257,890	
[特別増減の部]			
施設整備等補助金収益	0	650,000	
固定資産受増額	0	0	
特別収益計(8)	0	650,000	
固定資産売却損・処分損	2	1	
国庫補助金等積立金積立額	0	650,000	
特別費用計(9)	2	650,001	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲ 2	▲ 1	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	416,977	257,889	
[繰越活動増減差額の部]			
前期繰越活動増減差額(12)	11,446,775	11,554,886	
その他の積立金取崩額(14)	1,000,000	0	
その他の積立金積立額(13)	666,000	366,000	
次期繰越活動増減差額(11+12+14-13)	12,197,752	11,446,775	

資金収支計算書			
区 分	2018年度決算	2019年度予算	
科 目	金 額	金 額	
[事業活動による収支]			
会費収入	2,406,260	2,420,000	
電話相談事業収入	6,475,938	6,535,000	
経常経費寄附金収入	2,038,398	2,446,000	
受取利息配当金収入	1,804	1,000	
その他の収入	2,800	100,000	
事業活動収入計(1)	10,925,200	11,502,000	
人件費支出	2,333,464	2,410,000	
事業費支出	4,154,566	6,855,000	
事務費支出	3,612,336	3,790,000	
その他の支出	0	0	
事業活動支出計(2)	10,100,366	13,055,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	824,834	▲ 1,553,000	
[施設整備等による収支]			
施設整備等補助金収入	0	0	
施設整備等寄附金収入	0	0	
施設整備等収入計(4)	0	0	
固定資産取得支出	319,680	320,000	
固定資産除去・廃棄支出	0	1,000	
施設整備等支出計(5)	319,680	321,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 319,680	▲ 321,000	
[その他の活動による収支]			
積立資産取崩収入	1,000,000	2,300,000	
サービス区分間繰入金収入	0	0	
その他の活動による収入	1,000,000	2,300,000	
その他の活動による収入計(7)	1,000,000	2,300,000	
積立資産支出	666,000	426,000	
サービス区分間繰入金支出	0	0	
その他の活動による支出計(8)	666,000	426,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	334,000	1,874,000	
予備費(10)	0	0	
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	839,154	0	
前期末支払資金残高(12)	10,491,977	11,331,131	
当期末支払資金残高(11)+(12)	11,331,131	11,331,131	

## 財産目録

2019年3月31日現在 (単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]	11,331,131	ソフトウェア	0
現金預金	7,398,831	権利	76,440
未収金	3,932,300	施設設備整備他積立資産	6,532,000
[固定資産]	18,422,808	[流動負債]	0
基本財産定期預金	10,539,094	[固定負債]	0
リコーサテリオ A411G印刷機他	1,275,274	差引純資産	29,753,939

上記について監事監査の結果 適正であることを認めます

2019年5月5日

監事 山田英幸 ㊞ 青嶋 亨 ㊞



# 2019年度事業計画

## 1 当法人を取り巻く環境

### ・厚生労働省の自殺対策事業への取り組みと各県・市町村の対応

自殺総合対策大綱を改正し、静岡県は平成34年度までの「第3次ふじのくに健康増進計画後期アクションプラン」休養・こころの領域で、自殺による死亡者の数値目標を掲げ、静岡市でも31年度からの4年間の「自殺対策行動計画」策定し、新たな数値目標を30年度中に検討する方針である。

### ・静岡いのちの電話では、令和元年8月の開局20周年を契機に、新たな次の10年に向け、組織全員で考え、行動していくスタートの1年と致したい。

## 2 開局20周年記念事業への取り組み状況

開局20周年が、平成という一つの時代から、新しい時代の幕開けを迎える年に当たり、以下5つの委員会を設けて準備をしてきました。

### (1) 記念式典

#### 20周年コンセプト “緩流～大地を潤す～”

- ・日時 令和元年7月28日(日)  
13時(受付12時半～)
- ・会場 グランドホテル中島屋静岡  
3階 オリーブの間

### (2) 記念講演

- ・会場 同上
- ・時間 14時15分～15時15分
- ・講師 元新潟いのちの電話理事長  
眞壁 伍郎 氏
- ・演題 「みんなで生きるために  
～今私たちに求められること～」

### (3) 記念の集い

- ・会場 同上ホテル 4階 オーキッドの間
- ・時間 15時30分～17時40分(予定)
- ・参加対象 相談員、研修委員、事務局、後援会、理事・評議員・監事等内部関係者とする。

### (4) 記念誌の発行

### (5) 電話相談事業賛助会員・寄付協力依頼事業先の訪問活動

## 3 重点活動への取り組み

### (1) 相談員の確保への対応

- ・今回新しく作成されたリーフレットを活用し、相談員養成講座受講生の募集活動を強化していく。

### (2) 相談支援体制の充実

- ・相談員の相談力の向上に努めるための継続研修のほか、研修指導担当の確保、外部専門指導者の活用も検討したい。
- ・相談員全体研修会、更に「相談員なんでもしゃべろう会」等の充実を図っていききたい。

### (3) 若年者相談体制への取り組み推進

- ・昨年10月から参加した、連盟主催のインターネット相談事業への更なる体制充実を図っていききたい。
- ・県中部・東部の中学・高校生向けに、電話相談・ネット相談の紹介カードを作成し、県教育委員会の協力を得て、8～9月に配布する計画。

### (4) 三島分室の相談体制の充実を目指す

- ・東部での一部養成研修受講の機会を作り、受講生の便宜を図ることも今後検討していききたい。
- ・分室での市民公開講座開催等の企画充実を図っていききたい。

### (5) 後援会活動の充実

- ・今年度は開局20周年記念事業の一環として、12月に20周年特別記念講演会を企画していく。
- ・後援会員の増加を目指し、特に法人・団体先を新たに開拓し、資金面での協力先を拡充させたい。

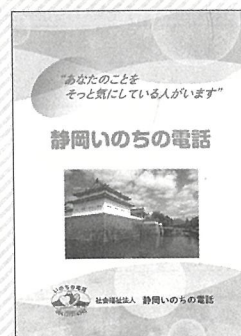
### (6) 広報活動の充実

- ・開局20周年記念誌を作成し、関係先にお届けしたい。約1200部を作成予定。
- ・定期広報誌の内容充実に努め、これを通して広く市民に活動に対する理解・協力を求めていく。
- ・いのちの電話の諸活動を、新聞・テレビ・ラジオ等マスコミに情報提供し、支援活動への理解・協力を結び付けていく。

## 「静岡いのちの電話」の案内リーフレット

プロジェクトチームがカラー8ページの美しい冊子を完成させました。

図書館や公民館に置いて、「いのちの電話」に興味をもってもらい、相談員の増加につながってほしいと願っています。



# 資金ボランティアの皆様

◎ご支援ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

2018年4月1日から2019年3月31日までに会費等のご協力をいただいたのは、下記の皆様です。

心より感謝申し上げます。4月以降の場合は、次年度でのご報告となります。

☆会員、会費の管理に徹底を期しておりますが、もし記入漏れや誤りがありましたら、ご容赦をお願いするとともに、お手数ですが事務局までお申し出でくださいますようお願いいたします。

## 個人維持会員

相川 好江	遠藤 富美子	久保田 一枝	高山 壽重	名倉 慎一郎	牧野 高子
青木 清高	遠藤 百合子	黒沼 宏一	竹内 俊明	南 莊 宏	増井 悦子
青木 直子	大石 喜一郎	五井 富子	竹内 雅子	西村 保	増井 均
青木 博子	大久保 俊夫	神瀬 眞一	竹下 訓子	芳賀 直哉	松枝 さとみ
青木 光枝	大関 久美子	古賀 文彦	竹田 昌久	芳賀 美江	松永 修
青島 敏江	大塚 幸子	小林 敏好	竹安 卯起	萩原 正巳	三村 恵子
青柳 恵子	大戸 宏文	佐尾 かね子	多々良 幸子	服部 朋子	宮崎 起世子
赤木 桂子	岡田 君子	佐川 博	田中 久子	濱 美知子	三好 陽子
秋野 征子	緒方 弥生	櫻井 康夫	田辺 雪子	原 邦子	村松 美保子
明比 輝代彦	岡村 宏枝	佐野 哲	谷津 静枝	原 直美	望月 恵子
浅井 順子	小川 久恵	塩津 美代子	田原 小夜子	原 科 洋子	初山 千恵子
浅野 加子	尾崎 千恵子	篠原 幹男	田平 育代	林 のぶ	八木 健
天野 滋	小澤 文郎	清水 紀代子	塚本 雅子	原田 貴之	八束 正彦
天野 靖子	笠井 恭子	柴山 恭子	土屋 貢	兵頭 正敏	山岸 美智子
新井 文子	笠原 恵子	白鳥 英美	都築 恵	平岡 宏子	山口 芳枝
飯塚 美智子	梶山 幸子	榛葉 和美	寺尾 文子	平岡 美佐江	山崎 勲
池田 雅光	柏田 憲吾	杉浦 陽子	戸嶋 光子	平野 加代子	山田 浩子
石井 広美	勝又 秀子	杉山 美和子	栩木 陽子	深本 恵子	山本 朋子
石岡 治江	勝見 紘美	鈴置 昌裕	戸塚 弘道	福島 浩	山本 睦美
石上 俊二	金井 寿男	鈴木 清子	外岡 長城	福島 泰子	山本 嘉子
石川 征子	亀山 浩代	鈴木 武	外立 昌子	福家 公子	吉岡 秀規
石川 由美	川井 国光	鈴木 昌規	内藤 美代子	福家 俊郎	吉田 和子
伊東 園子	河守 博一	鈴木 直子	永井 滋乃	藤井 陽子	吉田 由貴子
伊藤 伝治	木田 文夫	鈴木 英夫	中井 弘和	船城 眞理子	藁科 正弘
伊藤 豊子	木村 聰	鈴木 浩代	長濱 浩代	舟貝 敏行	匿名 4名
稲毛 智恵子	櫛田 勝朗	外田 耐子	中平 靖美	古橋 聰一	
内田 恵子	櫛田 節子	高橋 正	中山 秀子	細川 直美	

## 団体維持・賛助会員

株式会社アイ・テック  
愛徳カルメル修道会  
株式会社赤阪鐵工所  
いなば食品株式会社  
(有)奥村組  
(株)お仏壇のやまき  
(株)川崎宣弘社  
木内建設株式会社  
興亜工業株式会社

静岡ガス(株)  
(株)静岡銀行  
(株)静岡銀行本店営業部  
常設バザー  
(医)すだ医院  
たぐちクリニック 田口博之  
田代クリニック  
洞江法律事務所 洞江 秀  
株式会社TOKAIホールディングス

(医)西焼津クリニック  
宗教法人 宝台院  
(医)服壽会 原医院  
ひまわりの会 やいづ  
法伝寺  
(株)ホテイフーズコーポレーション  
株式会社 村上開明堂  
(医)峻凌会やきつべの径診療所  
株式会社 山清倉庫



## 特別寄付（個人）

青木 清高	石川 正次	神田 均	谷田 智子	芳賀 美江	山本 嘉子
青木 恵子	稲毛智恵子	久保田一枝	谷津 静枝	福元 末男	吉田由貴子
青木 久枝	大石ひさ代	神瀬 眞一	粒木 有一	丸谷百合子	若栗美保子
青島 敏江	大戸 宏文	佐藤美智子	遠山千代子	宮崎起世子	渡辺 幸子
青山 春子	小澤 巖	鈴木 由美	中井 弘和	村越 信子	匿名 2名
浅野 加子	笠原 恵子	外田 雅樹	中山 仰	山城 厚生	
天野 靖子	加藤千津子	高須 和世	夏苺 郁子	山田 英幸	
有田モト子	川井 国光	竹内 俊明	芳賀 直哉	山田 浩子	

## 特別寄付（団体）

(株)AFC-HD アムスライフサイエンス  
 SUS株式会社  
 MOA健康生活ネットワーク  
 小澤重ケミカル工業(株)  
 カトリック静岡教会パンの会  
 カトリック焼津教会愛徳会  
 カトリック八幡教会  
 (株)川崎宣弘社  
 松江山 教覚寺  
 草薙カトリック教会  
 栗原法律事務所  
 (株)三創  
 静岡英和女学院中学校・高等学校

静岡雙葉学園同窓会  
 静岡ホーリネス教団静岡キリスト教会  
 (有)新日邦 代表取締役 飯塚邦弘  
 『小さな親切』運動静岡県本部  
 てらだ医院  
 (株)西山興業  
 日本キリスト教団静岡教会  
 日本福音ルーテル栄光教会  
 日本福音ルーテル栄光教会 藤枝・島田 女性会  
 日本福音ルーテル小鹿教会  
 FD人件費  
 ネット相談人件費

## 共同募金（使途選択募金）

共同募金が使途を指定できるようになりました。  
 「静岡いのちの電話」と指定して下さいました方々です。

青木 直子	大戸 宏文	武田 安弘
青木 博子	大戸八重子	田原小夜子
青木 光枝	緒方 弥生	芳賀 直哉
浅井 順子	木苗 直秀	芳賀 美江
我妻 英樹	小林 敏好	藤井 陽子
新井 祥三	杉本 裕志	舟貝 敏行
新井 文子	鈴木 武	舟貝 好子
大塚 幸子	鈴木 相子	吉岡 秀規

特非)地域生活・就労サポートセンターう  
 夏苺講演会打合せ会一同  
 G研修お別れ会一同

## 改築準備積立金寄付

青木 久枝	笠井 泰子	吉岡 秀規
青嶋 亨	鈴木 武	匿名 1名
石井 広美	満井 義政	
興津千代子	山田 英幸	

### 棚田便り

### ～田植え案内～

日時：2019年6月8日(土)  
 9時頃から午前中

場所：静岡市相俣の清沢の棚田  
 駐車スペース有り

持物：お弁当・長靴

今年もモリアオガエルの  
 たまごの白い泡が見られる  
 といいですね。





## 自殺予防講演会「人は、人を浴びて人になる」



1月27日(日) アイセルにおいて、児童精神科医夏苺郁子氏の講演が行われました。

講師自身が病と闘ってきた人生を公表して迫力ある講演でした。病気になったのはその人や家族のせいではなく、回復には人との出会いが必要で「時間という薬」が最も有効なのだということ、周りの人はその出会いの人になることで支援できると訴えました。参加者150名

参加者からは、「壮絶な人生を公表して講演する勇気に頭が下がります」、「人を救えるのは、当たり前な日常の関わりなのだという言葉が心に残りました」、「出会いの大切さを強調されていたので、自分も関わり寄り添える人になって支援したい」等の感想が寄せられました。

## 第21期電話相談員養成研修開講式

平成31年4月6日(土) 第21期「静岡いのちの電話」電話相談員養成講座の開講式が行われました。

中井理事長は「究極のボランティア」と言われる相談員を目指す10名の受講者に「夜と霧」のフランクルの言葉を贈って励まされました。「地獄のような強制収容所の中で、強く気高く生き延びることができたのは、心豊かに生きてきた人であり、また、収容所において自分より弱っている者に、自分の食べ物を分け与えることのできた人であった」と。

開講式の後、大久保研修委員長の第1回目の研修講座で、1年半の研修が始まりました。



## 「五百人会」総会

2019年5月26日(日)に静岡いのちの電話後援会五百人会の総会が、静鉄ホテルプレジオ南口で開かれました。

新後援会長として溝口康博氏(はごろもフーズ前社長)を迎え、「いのちの電話の支援者500人達成」を目指して、新しく令和の時代の活動に踏み出しました。更に、新たに事務局長補佐として新理事 南荘和明氏(元静岡銀行管理職)にも加わっていただき、力強い後援会体制ができました。

各年度初めに行われる総会ですが、終了後の会員相互の交流会は、新しい顔ぶれに賑やかに情報交換が行われ、笑いに包まれた和やかな会となりました。



## 第2回ワンダフルライフ展

日時 2019年7月12(金)～14日(日)

会場 シズウェル1F 103会議室

静岡いのちの電話の相談員、運営スタッフが、家で楽しんでいる趣味の絵画・書道・陶芸・手工芸・園芸などの作品を展示して、交流を図るものです。好評だった第1回に続いて開催することになったものです。どなたでも見に来てください。

## 市民公開講座

### 音楽とトークの集い(仮称)

日時 2019年12月15日(日) 午後

会場 アイセル21

出演 インズハートという長崎大医学部2人と若き音楽家2人

※医者と音楽家のどんなコラボが展開されるかお楽しみに！  
具体的に決まり次第、チラシでご案内いたします





日時 2020年1月25日(土) 午後  
会場 静岡駅近く 交渉中  
講師 武井 陽一氏 (精神保健指定医)

※講師は聖霊三方原病院に20年間勤められ、袋井市にあるデンマーク牧場に開設された「こひつじ診療所」に赴任して12年になる精神科医です。  
※具体的に決まり次第、チラシでご案内いたします。



●2018年度、下記の補助金・助成金等をいただきました。  
感謝申し上げますと共に有意義に使わせて頂きました。

① 静岡県から相談員研修事業費補助金	1,700,000円
② 静岡県から電話相談員確保強化事業補助金	500,000円
③ 静岡県から災害時自殺対策事業補助金	250,000円
④ 静岡市から電話事業費補助金	450,000円
⑤ 県共同募金会から共同募金の助成金	1,000,000円
⑥ 県共同募金会から使途選択募金助成金	121,478円
⑦ 静岡県から休日・夜間のこころの電話受託費	1,782,300円

●2018年度バザー会場、募金等のご協力有難うございました。

日本基督教団静岡教会バザー・募金箱、八幡幼稚園バザー、事務局内常設バザー、佐々木 格講演会会場、草薙 郁子講演会会場、映画会会場での寄附  
総額 94,362円

私が電話相談員養成講座に応募した時のこと

定年後の人生設計を考える年齢になったころ、「静岡いのちの電話」設立準備会への誘いを受けました。しかし出席してみると、メンバーの熱意、高い見識に感服する一方、静岡市内まで行っているの合、しかも夜間の合では、とうてい仕事との両立はできそうもありません。

しかし、相談員養成講座だったら可能ではないか、研修会場は藤枝市内で自宅からも近いし、しかも養成講座の内容も興味あるものでしたから。

2年間の養成期間の終わり頃には、仕事場の同僚から「最近人柄が優しくなり、ことばも柔らかくなったね」と言われました。相談員養成講座の研修は、相談員としての資質の向上に、自分自身の人格形成に大きな影響を与えていたのです。あらためてこの活動を続けることの意義を感じ、意欲を高められました。

相談員になって10年後、養成講座の面接会場の受付に、かつての教え子が応募者として来ました。教え子と共に活動する事になるなんて！お互いに予想だにできなかった嬉しい出会いになりました。

電話を掛けて来て下さる方と真摯に向き合い、真剣に話し合う中からも多くを学びます。思いやりのある人間関係に包まれて、多くの学びの場の与えられるこの活動を続けていけることを嬉しく思います。感謝と喜びの中で相談員としての20年目を迎えています。

(相談員 A.F)

編集後記

☆人との関わりの中、社会の今の現状をボランティアを通して感じるものがたくさんあります。相談員の温かいふれ合いにホッとする時を嬉しく思います。  
(相談員 H.M)

☆平成から令和になり、その年に開局20周年を迎えるのが嬉しく誇らしく思います。(広報 青木)